

研究会イベント「美しい色風景アイデアフラッシュ」の実施報告 Idea Workshop about the beautiful color landscape

渡邊 千穂
Chiho Watanabe

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

キーワード：色風景, ワークショップ
Keywords: color landscape, workshop

1. 概要

美的感性研究会は様々なジャンルの研究者が集まる会であり、交流による相乗効果から新しい研究課題や解決へのヒント、様々な刺激を生み出すことを目的とし、イベントの企画を行っている。

With コロナの段階となり、世の中の活動もオンラインとリアルをうまく使いこなすようになってきているが、特に新しいアイデアを生み出すためにはリアルでのブレインストーミングが有効とも言われている。

今回、実験的な試みとして、学生も含め年齢や専門ジャンルが異なる参加者による“アイデアフラッシュ”という研究課題の種を生み出すワークショップを開催した。このイベントは学生と専門の異なる社会人のコラボレーションやつながりの醸成も目的として実施した。

実施日は2023年7月6日、会場は名城大学工学部 innovation hub である。

2. テーマの設定と手法

今回のイベントは3時間という限られた時間で行ったため、アイデアを出しやすくするねらいでテーマを絞りこむこととした。美しい日本の色彩環境を創る研究会が本研究会の前身でもあることから「色風景」をテーマとした。

テーマを絞りこんだとしても具体性に欠けると一般的なブレインストーミングの手法ではアイデアが発散し、研究課題にまで落としこむことが難しい。そこで実績のある手法として、社団法人社会デザイン・ビジネスラボで活用されている「いのべ場」を適用しワークショップを実施した。「いのべ場」は、主に社会課題解決に向けた事業創出を目的としたイノベーションを生むワークショップ手法である。

当日は社会デザイン・ビジネスラボから三尾幸司氏、歌津優美氏を迎え、アドバイスとファシリテートをい

ただきながら実施した。

ワークショップの流れは次の通りである。

1-1. イメージがわきやすいよう、学会サイトで運営されている「日本の美しい色風景サイト」を閲覧



図1. 日本の美しい色風景サイトページ

1-2. 社会人と学生の混合グループ4チームを構成し、得意領域、趣味などを記載したシートをもとに1分自己紹介によって、チームビルディング

1-3. 連想するワード(要素)を出していき、分類する事でテーマを抽出



図2. 各グループで出した要素を分類したテーマ

1-4. 出されたテーマについて自由に話し合い



図3. テーマについての議論の様子

1-5. 課題のアイデア出しの個人ワーク



図4. 個人ワークの様子

1-6. アイデアを持ち寄り、議論、整理



図5. アイデアの議論と整理の様子

1-7. チームごとに発表し、質疑応答



図6. 発表と質疑応答

3. 結果

「色風景」を題材にワークショップを行った結果、「地域の活性化」「心理への働きかけ」「景観」「画像処理技術」「コミュニティ」「子供の教育、生涯教育」「事業化」「美しい色風景サイトのステップアップ」等の様々な切り口のもと、課題アイデア40件以上が整理され、参加者同士で共有することができた。また、アイデアにいたるチーム内での討議では世代や立場が異なるにも関わらず、様々な話題でそれぞれが活発に発言し、いろいろな価値観に触れる楽しい時間となった。

4. 今後の進め方

今回のイベントでは、様々なジャンルの研究者の交流は相乗効果によって、多くのアイデアを生むことができる、ということが示された。今後も美的感性研究会では幅広い専門の多くの会員が所属していることを活かし、それぞれの成果に結びつくような魅力的なイベントの企画が期待できると考えている。

協力：名城大学学びのコミュニティ創出支援事業「美的感性データライブラリ構築と地域創生・価値教育への応用」

名城大学理工学部川澄研究室

社会デザイン・ビジネスラボ／株式会社JSOLの三尾幸司氏、歌津優美氏に感謝をいたします。